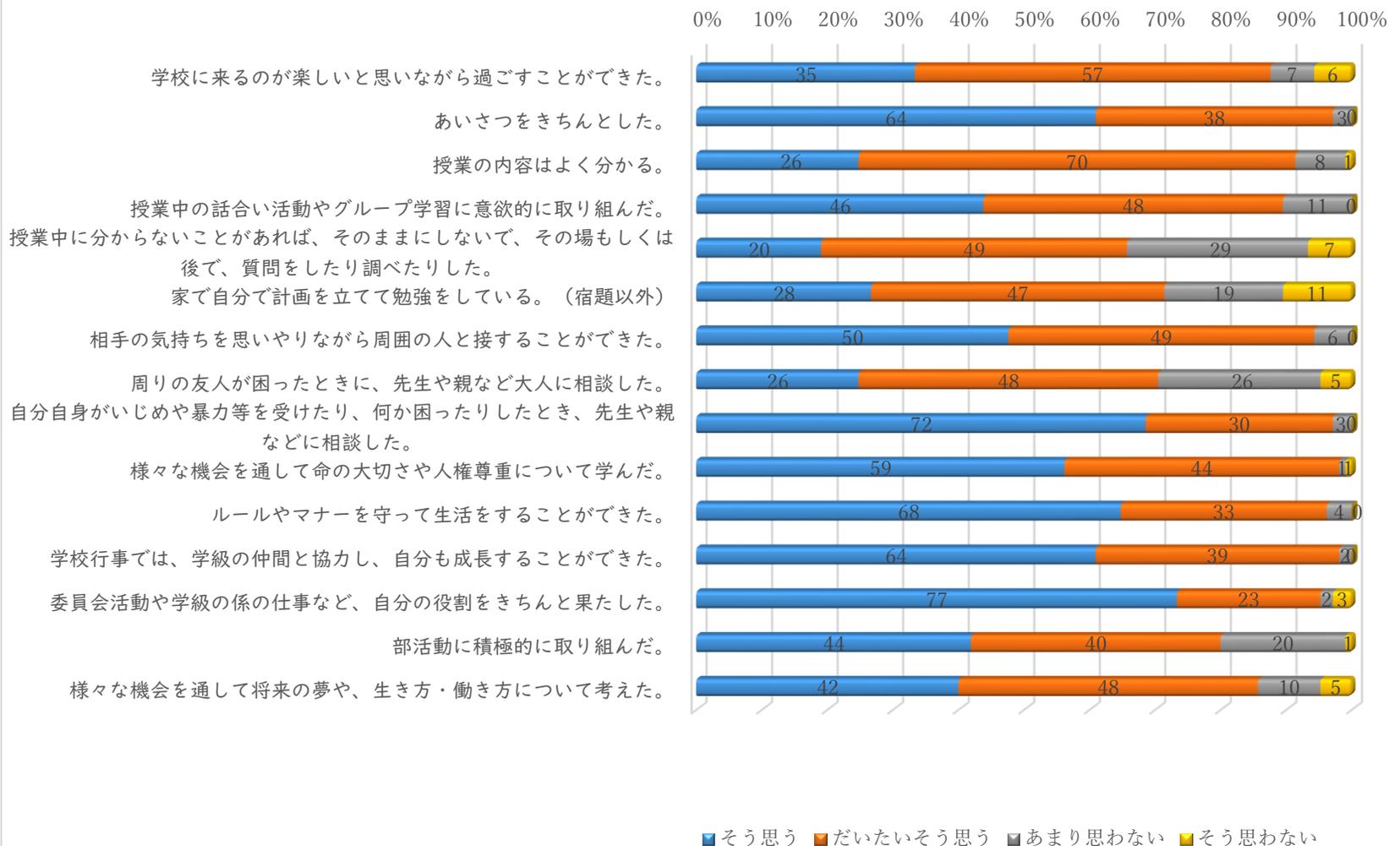


# 令和7年度学校評価アンケート（生徒）結果から



## 【成果と課題】

・全体として、肯定的な回答が多かった。今後も継続して質の高い江中教育に尽力してまいります。

○昨年度よりあいさつやルールやマナーを守ることを重点に置いていますが、教職員や生徒会役員が率先して呼びかけをしたことで一人一人の意識が芽生え、それらの項目では肯定的な回答が多くなったと考えます。あいさつをすることで学校内の人間関係をよくしたり、ルールやマナーを守ることで人としての成長や集団の中でのふるまいも大切にしていきたいです。

○学校行事や校外学習等を通して、いのちの大切さや人権尊重について学んだり、相手のことを思いやりながら周囲とのかかわり方を学んだりして、仲間とともに成長していることを実感し、充実した学校生活を送っていると考えられます。

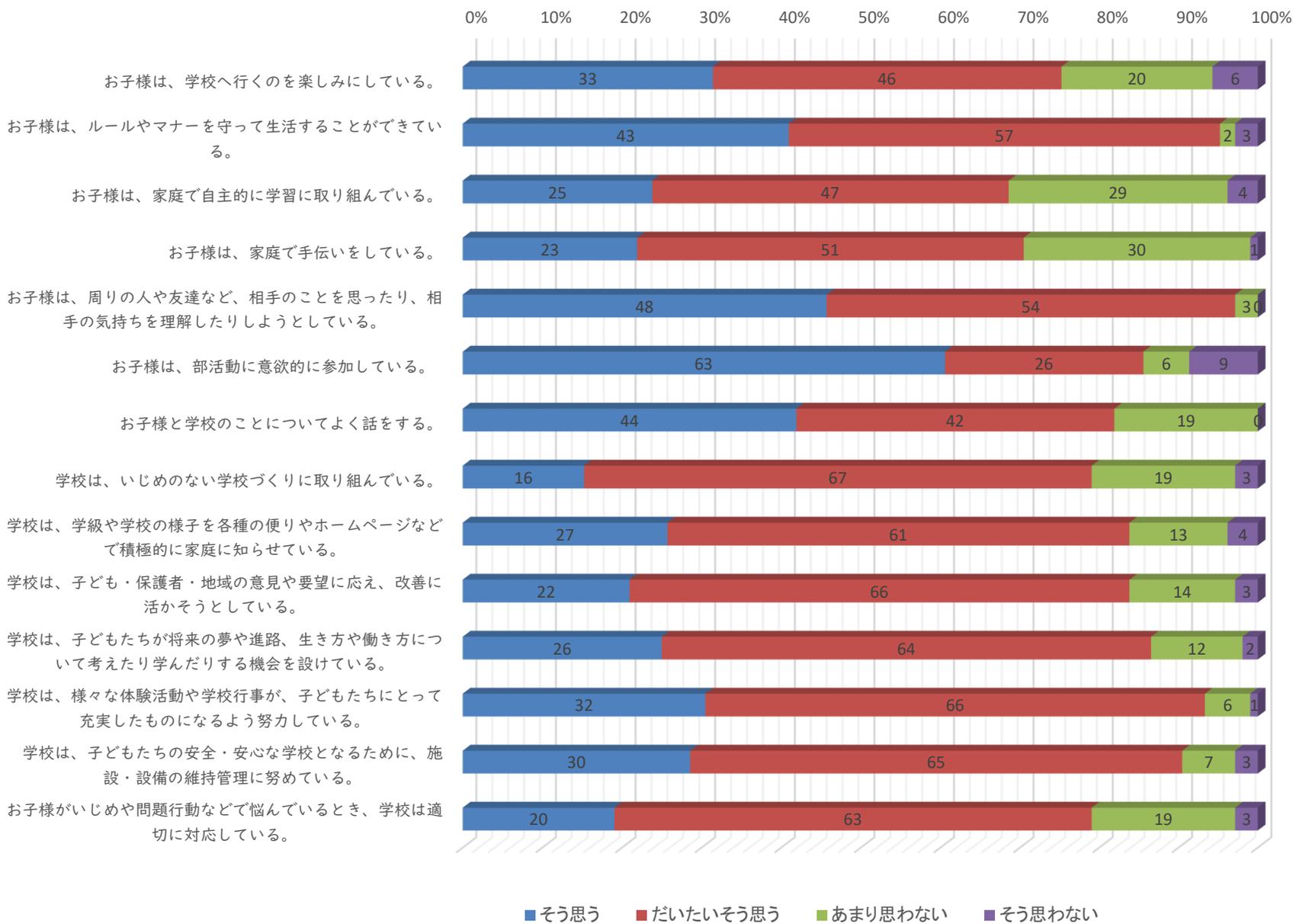
○部活動や授業での話し合い活動・グループ学習に意欲的に取り組んだという項目への肯定的な回答が多く見られました。今後も、仲間とともに認め合い、高め合い、讃え合える江中生をめざしていきます。

▲学習面では、授業中に分からないことをそのままにしたり、自分で調べたりしないという回答が昨年より微増しています。分からないことがあれば、質問をしたり、タブレット等を使って調べたりして、主体的な取組を進めるとともに、個に応じた指導に努めていきます。

▲家庭学習の取組についての項目も、昨年度より10%ほど否定的な回答が多くなっています。宿題などの与えられた課題には取り組んでいますが、自分に必要な学習は何なのか、どのような勉強の仕方をすればいいのかなど、家庭学習に主体的に取り組めるような指導をしていきます。

▲自分や周りの人が困っているときに相談をしない生徒が多いことが窺えます。まずは生徒同士、また生徒と教職員との人間関係を構築し、困りごとを話しやすい体制を整えていきます。また、定期的な生活アンケートの実施や教育相談、担任等との面談により、いじめ等への早期発見に努めたり、各種相談機関の周知も積極的に行ったりしていきます。

# 令和7年度学校評価アンケート(保護者)結果から



## 【成果と課題】

多くのご意見をいただき、ありがとうございました。今後も保護者の皆様と連携を取り、継続して質の高い江中教育に尽力してまいりますので、ご理解・ご協力いただけますようお願いいたします。

○子どもたちは、あいさつやルールを守ることを意識した生活を送ったり、周りの人たちの思いや気持ちを理解しようと努めたりしていることが窺えます。今後も、道徳や人権の学習などを通して、自分を大切に、そして周りの人も大切にできる子どもたちを育てていきたいと思えます。

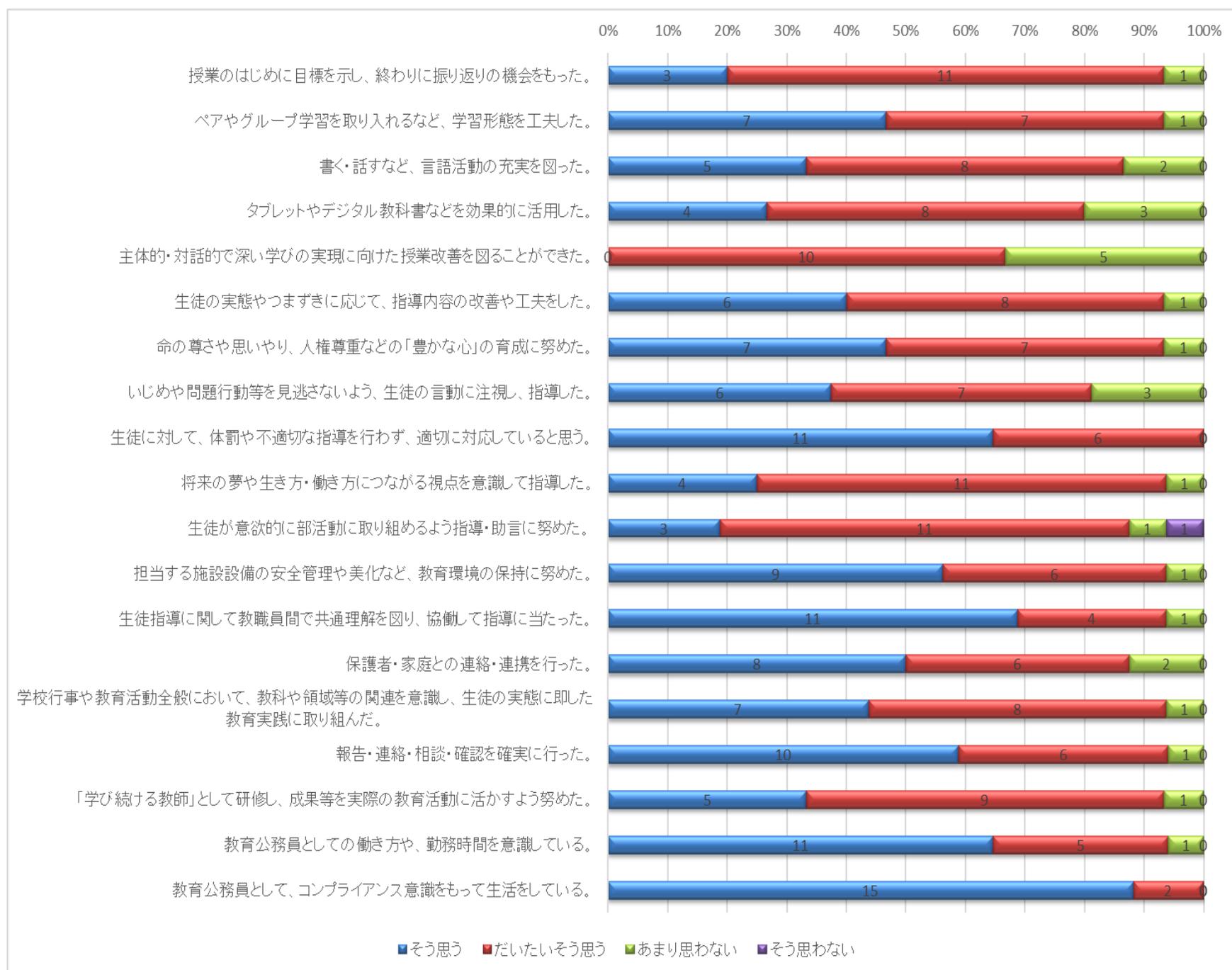
○部活動については、保護者の皆様に休日の送迎や試合での応援や差し入れ等、ご支援やご協力をいただいていることで、子どもたちは活動に意欲的に参加ができ、学校生活の有意義な活動の一つとなっています。

○「学校は子ども・保護者・地域の意見や要望に応え、改善に活かそうとしている」の項目は、昨年度よりも15%ほど肯定的な回答が増加しました。日頃から保護者の皆様が学校の取組にご理解・ご協力くださっているおかげです。また、PTA役員の方々が、学校と保護者の有機的な関係づくりに貢献してくださったり、子どもたちのよりよい生活のためにご尽力くださったりしたことも大きな一因です。

▲「お子様は学校へ行くのを楽しみにしている」という項目への肯定的な回答が昨年度より減少しました。この結果を受け、まずは子どもたちの声に耳を傾け、授業や行事に工夫・改善を加え、子どもたちが安心して過ごせる学校づくりや、授業や活動を通して「分かる・できる」を実感し、成功体験の積み重ねができるよう、教職員一丸となって行ってまいります。また、保護者の方からのご意見もお伺いできる機会を設け、保護者の皆様と一緒に、子どもたちの成長を支えていけたらと考えております。

▲「お子様と学校のことについて話をする」と「学校からの便りやホームページなどでの発信」については、学校での出来事をご家庭で話す機会が増えるよう、ホームページや各種便りの工夫をしてまいります。

## 令和7年度学校評価アンケート（教職員）



### 【成果と課題】

○授業において、「書く・話すなどの言語活動の充実」は昨年比べて約13%アップ、「タブレットやデジタル教科書の効果的な活用」は約10%アップしましたが、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」が約14%ダウンしていることから、子どもたちが自ら問いを立てたり、学び方を工夫したりできる授業展開に努めていきます。

### 【意見や感想について】

○今年度は、学年、学校全体で、総合的な学習、人権学習、キャリア教育などの取組をしてきたが、今後はさらにそれぞれの取組がつながりのある取組となるように、計画等を再度見直していきたい。

→引き続き教職員全体での研修や行事等の教育活動のねらいや目的を実現できるよう、工夫改善を行っていきたい。

○生徒のことをしっかり見とれる時間を確保し、教員間の情報連携を密に図ることが必要。

→学校の全教育活動のねらいや目的を教職員全員で再確認し、学校一体となって指導・支援の充実を図りたい。

○学習面では、ハイブリット形式で知識の定着をめざしてきたため、思考力や主体性に目を向ける段階が近づいてきている。

→子どもたちが学習に主体的に取り組み、「分かる」「できた」を実感できる授業改善を図っていく。

○働き方改革を進めてほしい。

→学校として何が働き方改革につながっていくのかをしっかりと分析を行い、業務の見直しや協働体制の確立、また働きやすさや働きがいについて考えていきたい。